



石川県立金沢錦丘高等学校
令和2年6月1日
保健室



やっと学校が再開となりました。エネルギーが有り余っている人、家が恋しい人、それぞれ色々な思いを抱えているかと思いますが、さあ、スタートです！肩の力を抜いていきましょう。

一方で、まだまだ感染防止のため、一人ひとりの心がけが大変重要です。なぜそのような対策が必要なのかを考え、毎日予防の徹底に努めましょう。

新型コロナウイルス対策 ～学校再開版～

<検温、風邪症状等の確認について>

- ・毎朝登校前に自宅で検温し、Google classroomの「錦丘健康チェック」に入力します。
「錦丘健康チェック」ができない場合は、生徒玄関前で健康チェック表を記入し、玄関指導の先生にサインをもらい、ST時担任へ提出します。
※微熱や風邪症状がある場合は登校せず、保護者の方から学校へ連絡すること。
- ・万が一検温を忘れた場合は、校内を通らず、生徒玄関反対の北階段口（学務員室側）から入り、保健室前で検温を行います。

<通学について>

- 新**・公共交通機関を利用する場合は、①発熱がある場合乗車を見合わせる
②乗車中は必ずマスクを着用 ③乗車中は会話を控える ④手すりやドアに触れた手で、目や鼻や口には触れない 以上のことに気を付けてください。



<基本的な感染対策について>

- ・必ずマスクを着用してください。マスクの色等の規制はありません。マスクを忘れた場合は校舎には入らずNスクエアを通り、北階段口（学務員室側）から入り、保健室に申し出ること。
- 新**・マスクは常時着用が望ましいですが、体育の授業中など、熱中症の危険性がある場合等は外しても良いです。ただし、その際は特に換気、身体的距離の確保、咳エチケットに留意すること。
- 新**・マスクを一時的に保管しておくための布またはビニール袋を持参してください。
- ・石鹸を使用してこまめに（①教室に入る時 ②咳やくしゃみ・鼻をかんだとき ③食事の前後 ④掃除の後 ⑤トイレの後 ⑥共有のものを触ったとき等）手洗いを行ってください。30秒が目安です。
手洗い後は清潔なハンカチやタオルで手を拭きます。必ずハンカチ等を持参すること。貸し借りをしてはいけません。また、消毒液も活用しましょう。
- 新**・鼻をかんだティッシュは、教室にあるアイラップ（ビニール袋）に入れて、口をしぼり、蓋付きゴミ箱に捨ててください。ゴミ箱の蓋に触れないよう注意すること。また、その後必ず手洗いをする事。
- 新**・スマートフォンやタブレットはいろいろなところを触った手で操作することから、ウイルスが付着している可能性があります。家庭でも、使用の際には消毒をする、使用後は手を洗うなど対策をしましょう。
- 新**・発症した時のため、誰とどこで会ったかを記録しておいてください。（1,2年生は「フォーサイト」を活用）

<保健室の利用について>

- ・保健室の入り口を、2つに分けてあります。手前は「発熱や倦怠感等の体調不良の生徒」。奥は、「ケガや腹痛など、風邪症状のない生徒」の入り口とします。掲示をしておきますが、保健室には入らず、外から声をかけてください。
- ・登校後、発熱や体調不良で早退する場合は、保護者のお迎えが来るまでの間、小会議室で待機します。

<「密閉」「密集」「密接」しない！>

- ・教室の廊下側の窓は常時開けておきましょう。休み時間毎に外側の窓も開けて換気をおこなってください。エアコン使用時においても、換気は十分におこないます。
- ・常にほかの人と十分な距離（最低1メートル）をとって過ごしてください。
例）：手洗いやトイレに並ぶとき等にも前の人と間隔を空ける
休み時間中に話すときも集まらない、大声で会話をしない
- ・会話をするときはマスクを必ずつけ、真正面での会話は避けましょう。



<飲食について>

- 新・飲食する前には必ず手を洗うこと（手指消毒でも可）。
また、弁当等が直接机に触れないよう敷物を持参してください。



- 新・机を合わせず食事をとること。

- 新・飲食中は会話を控えること。各クラスで定めた15分間は食べることに集中しましょう。この時間帯の会話は教室外で行うよう配慮しましょう。

- 新・冷水機は、指で押すボタンは使用禁止です。足踏みペダルでの使用のみ可能です。しばらく水を流した後、後に使うようにしてください。

<更衣について>

- 新・体育の授業がある日は体操服で登下校することを認めます。
また、更衣の必要な健康診断がある場合、体操服での登校を指示することもあります。

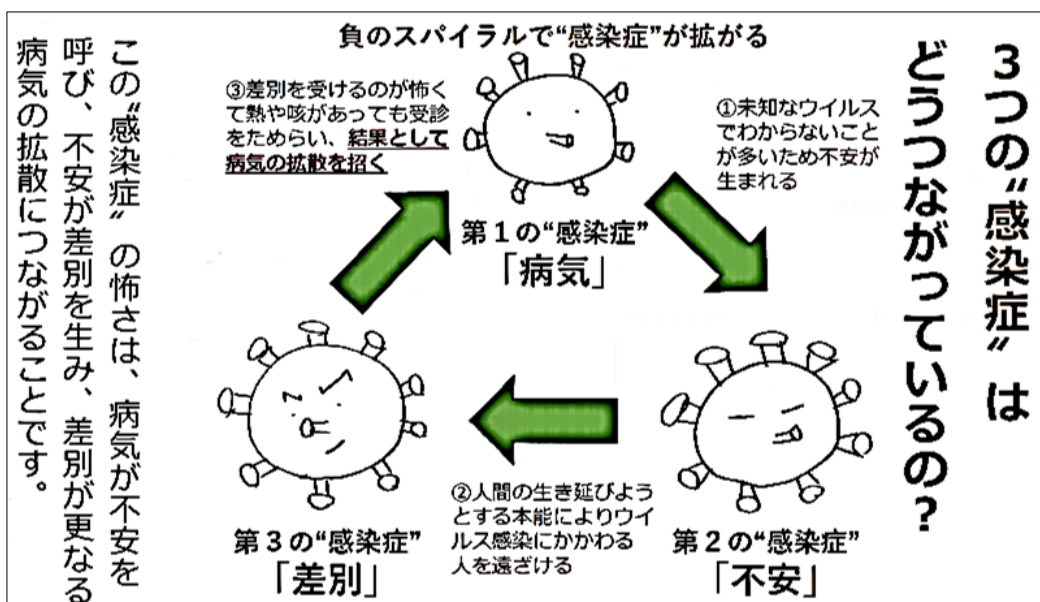
<清掃について>

- 新・トイレ掃除については、当面の間、生徒は行いません。ただし、普段の掃除を、換気の良い状態でマスクをし、いつも以上に丁寧におこない、清掃終了後には必ず手洗いをすること。

<健康の自己管理について>

- ・毎日十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけ、感染症に負けない身体を作りましょう。

新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見



見えないウイルスへの不安から、咳をしている人やマスクをしていない人を嫌悪の対象としてしまうということが、実際に社会で起きています。しかし、感染者、濃厚接触者、医療従事者、社会機能の維持にあたる方等とその家族に対する誤解や偏見に基づく差別は許されることではありません。

差別や偏見のもととなる「不安」を解消するためにも、正しい情報得ること、悪い情報ばかりに目を向けないこと、差別的な言動に同調しないことが大切です。